

2020年度活動実績

(一社) 鎮守の森保コミュニティ推進協議会は、「鎮守の森」を軸として、社叢林整備事業をはじめとして地域における自然エネルギー開発や地域コミュニティ活性化支援など、実践的な活動を続けています。

◎自然エネルギー開発事業

【陽野ふるさと電力設立】

埼玉県秩父市荒川日野地区で寺沢川の水流を利用した小水力発電事業を本格始動しました。陽野ふるさと電力㈱の設立は2019年。2020年5月9日の発電所起工式で工事に着工し2021年3月には完成、発電を開始します。発電規模は50kw。電力の地産地消への貢献を通じて、地域の里山整備や地域コミュニティの活性化を支援していきます。

なお、伊勢神宮にも小水力発電事業の提案を行っています。



「陽野ふるさと電力」寺沢川発電所起工式

【陽野ふるさと電力・寺沢川発電所現地視察 11.28】

11月28日(土)に寺沢川発電所の現地視察に行きました。



吸水口付近



発電所建物前で

◎社叢林整備育成支援事業

【弟富士神社の鎮守の森整備活動】

埼玉県秩父市の弟富士神社の鎮守の森整備活動に向けた資金の一部として、鎮守の森保全育成基金からの助成金を支給するなど、積極的な活動支援を行いました。同神社では、陽野ふるさと会が定例的に弟富士神社社叢林や周囲の森の保全育成作業を行っています。なお、近くの弟富士山頂には日本一とされる「さざれ石」があります。



▲「弟陽野ふるさと会」による富士神社の鎮守の森整備作業

◎その他の事業

【ふるさと絵本づくり】

環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトの一環として、2019年には荒川の上流である秩父市と下流である荒川区で「ふるさと絵本」づくりを行いました。地域の高校生・高専生から高齢者までが集って、改めて自地域を見つめ直して絵本にまとめたのです。こうした世代間交流は「絵本の読み聞かせ」の形で今後も続いていきます。

現在は、小田原市で同様な形で「ふるさと絵本づくり」を進めています。



▲ふるさと絵本贈呈式



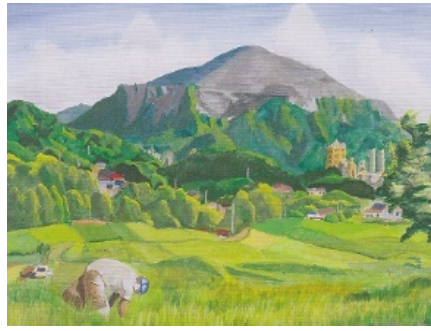
▲上：秩父版 下：荒川版

【武甲山未来フォーラム】

秩父神社の神奈備山であり秩父のシンボルでもある武甲山。良質な石灰石が産出するため山容が変わるほど採掘が進んできました。この武甲山のあるべき未来の姿を産官学・市民が一体となって考え、行動しようというのが「武甲山未来フォーラム」。その前身が2011年に秩父神社の藺田宮司が行った「武甲山再生フォーラム」であり、2019年には市民を集って「武甲山未来フォーラム」を開催しています。この実績を踏まえ、2020年12月には「一般社団法人武甲山未来フォーラム（仮称）」へと法人化して本格稼働します。



▲現在の武甲山



▲秩父の子どもたちが描いた武甲山（左から笠原大輝君、清水爽花さん、上原章吾君、大野実耶さんの絵）